

「岡前小学校の前野田植唄伝承活動の取組」

1 学校名

天城町立岡前小学校

2 学年・人数

小学校 1～6年生 19名

3 日時・場所

- (1) 平成28年4月14日 前野集落公民館
- (2) 平成28年4月16日 前野集落内田んぼ

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

前野田植唄

(2) 由来

徳之島の開闢神話でアメンキュ（神様）が稲を植えたとされる前野原（現前野集落）には，前野田植唄が，今なお継承され，歌い続けられている。

前野田植唄は，昭和20年代頃までは，祝田（ユウエダ）と呼ばれる豊作を祈願する祭祀を行う田んぼや，新たに作られた田圃（ミーダ）などで歌われていた。現在では，徳之島から田圃が姿を消したことにより，田圃で歌われる機会を失ったため，舞台芸能として形を変え，稲作労働を模した振り付けとともに歌われている。

(3) 構成等

前野田植唄は，稲を植える早乙女と，畦に立ってチヂン（太鼓）で調子を取る男性との掛け合いによって歌われる。舞台芸能では，男性が太鼓を叩いて調子を取り，男女掛け合いで歌われる。また，田圃への祈願風景や代掻き，田均し，田植えの情景が演者によって表現される。

5 保存会や地域との連携の具体

例年4月に開催される前野田植唄実演会（前野民謡保存会主催）では，岡前小学校の前野集落在住の児童・生徒を中心に，本行事に積極的に参加している。また，前野田植唄を学習発表会の演目として発表する際には，前野民謡保存会の方々に歌唱指導の協力をいただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

現在，徳之島には田圃がサトウキビ畑に転化してしまい，稲作に触れ合う機会がほとんどない。そのため，前野田植唄実演会への参加だけでなく，田植え後の，米の収穫や脱穀，精米などの稲作労働体験とともに，稲作関連行事であるハマオリ（稲の収穫祝）の体験も目的としている。また，田植え終了後には，去年の前野田植唄実演会にて植えられた稲から収穫されたお米で作った，おにぎりやカレーなどを食し，参加者全員の交流を図っている。

7 取組の様子



前野田植唄実演会風景



田植え終了後、昨年田植えした稲からとれたお米を食す

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(教員)

前野田植唄実演会は、前野田植唄の継承活動を行いながら、稲作体験もできるため、児童・生徒にとっては非常に貴重な体験活動であると考えられる。

(参加児童生徒)

唄を歌いながら田植えすることに驚いた。田んぼに入る機会が少ないので貴重な体験になった。

(保存会)

前野田植唄実演会は、今年で6回目となった。平成22年に国の補助事業を活用して、田んぼで歌われなくなった前野田植唄を復興する目的でこの行事を初めて実施し、事業終了後も毎年継続して実施している。毎年、前野田植唄実演会に岡前小学校の子どもたちが参加してくれて、行事を盛り上げてくれていて感謝している。前野田植唄実演会終了後には、いつも子どもたちとカレーなどを食べているが、そこで、前野田植唄以外の唄も子どもたちに聞かせて、子どもたちが少しでも多くの唄に触れ合う機会をつくっていきたい。